

令和3年度 東京情報大学総合情報研究所プロジェクト研究
研究実績報告書

1. 研究課題名

中学生の職業体験における大学の研究室訪問 ～千葉市教育委員会と連携で行うキャリア教育の構築～

2. 研究組織

区分	氏名	所属・職名
研究代表者	原田 恵理子	総合情報学部 総合情報学科・教授
研究分担者	田邊 昭雄	総合情報学部 総合情報学科・教授
	吉武 幸恵	看護学部 看護学科・講師
	中山 亜矢子	千葉市教育委員会
	勝治 雄紀	千葉市教育委員会

3. 連携先団体等

団体名	担当部署
千葉市教育委員会	千葉市教育委員会事務局学校教育部教育改革推進課

4. 研究期間

2021年4月1日～2022年3月31日(5年計画の3年目)

5. 研究の目的

職場体験は、時代の変化を理解した職業の創造と選択、キャリア発達の形成を重視した内容が重要になる。しかし、従来の職場体験は、体験先の偏りや体験内容の課題等が指摘され、新たな職場体験の在り方を検討することが急務の課題である。そこで本研究では、職場体験を包括した職業体験活動として、キャリア教育の視点からキャリアプランニング能力に焦点化した職場体験を実施し、その効果の検証を通してプログラム開発と実施体制に向けた知見を得ることを目的とする。そして、得た知見に基づきキャリア教育主任の研修に反映させ、その研修による担当者への研修効果をも検討することが目的である。

6. 研究報告

2019年度の予備実践後の翌年に本実践を予定していたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大により、2020・2021年度の千葉市内中学校における職場体験が中止となった。そこで本年(2021年度)は、小学校・中学校のキャリア教育主任を担当する先生方を対象とした研修に向けた準備としてガイドラインの増刷及び効果検証に向けた実践計画と同時

に実践群・統制群となる中学校の調整を進めた。

7. 成果の公表

原田恵理子・田邊昭雄・吉武幸恵(2022). キャリアプランニング能力育成のための教員用キャリア教育ガイドブック 2刷

8. 総評

千葉県・教育委員会学校教育部教育改革推進課 指導主事 佐藤 素子

千葉県では、児童生徒が「今学んでいること」や「これから学ぶこと」と、社会や職業とのつながりについて、発達段階に応じた理解を深め、将来社会に出たときに役立つ力を育むためのキャリア教育を展開しています。

今年度は、東京情報大学との共同研究により、キャリアプランニング能力を育成する効果が実証された内容が掲載されている「教員向けガイドブック」を2022年度市内小・中・特別支援学校キャリア教育主任研修会で用いるために増刷する等、研修準備を行いました。

今後も東京情報大学と更に連携を深め、このガイドブックの活用を進めるとともに、市内の2つの中学校において、職場体験学習に関する共同研究を進めていきます。